

備前市事務事業評価シート

事業の概要			
事業開始年度		平成17年度(昭和38年度)	
総合計画	大項目	01	安全で快適に暮らせるまちづくり
	中項目	01	生活しやすいまちづくり
	小項目	09	上水道及び簡易水道
事務事業名		06	水質管理事業
		根拠法令・例規等	水道法・公益事業法
		担当課(室)	水道課
		職・氏名	施設係長・吉栖 満
		電話	0869-66-9794
		このシート作成に要した時間	2.0 時間

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的	
対象(誰・何に対して)	市内の上水道利用者
目的(何のために)	市民へ供給する水道水として水質基準に適合する浄水の水質管理を行い安全で良質、しかも安価な水道水を安定給水するため。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	水質基準に適合した安全な水を市民に供給する。

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業の実績			
細事業名	事業の説明	優先度	
水質管理事業	水質検査(原水・浄水基準項目) 13ヶ所年1回		
	水質検査(浄水省略不可項目) 13ヶ所年3回		
	水質検査(原水・浄水簡易項目) 13ヶ所年8回		
	水質検査(水質管理目標設定項目) 4ヶ所年1回		
	水質検査(原水指標菌) 6ヶ所年4回		

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業費等		単位	平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度実績	
決算額	直接事業費		6,249	6,266	6,330	
	必要人員(人件費)	千円	0.88人	8,303	0.66人	6,270
	事業費計		14,552	12,536	12,211	
	国県支出金					
	受益者負担		14,552	12,536	12,211	
	繰入金	千円				
その他()						
一般財源						
受益者負担比率	%		100.0%	100.0%	100.0%	
結果指標名		単位	平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度実績	
結果指標	水質検査地点	説明	水質検査(原水・浄水基準項目)を実施する地点			
	結果指標量	箇所	13	13	13	
	対前年比	%	-	100.0%	100.0%	
	活動コスト	円	2,066,400	2,060,100	2,015,300	
単位当たりコスト		158,954	158,469	155,023		

(平成22年度事業)

事業の成果					
成果指標名	年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度目標値
水質基準の適合率	目標値(A)	100	100	100	100
	実績値(B)	100	100	100	到達目標値
	達成率(B/A)	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%

定期水質検査の結果が水質基準に適合している割合

事務事業の評価		5段階評価(A~E)のランク基準 A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い	妥当性評価 <A~E>
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	A
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 <A~E> A
有効性の評価	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参加している	有効性評価 <A~E> A

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら評価

進行年度(H23年度)の改革改善内容						
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
説明	引き続き水質基準適合率100%を維持するよう努める。					

総合評価		5段階評価(A~E)のランク基準 A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い
水道事業にとって水質管理は重要であり毎年厳しくなっている水質基準に対応するため、広域水道企業団、岡山県健康づくり財団と連携しながら技術の向上に努める。	評価区分 <A~E>	A

平成24年度の方向性・取組目標						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
取組目標	引き続き水質基準の適合率100%を維持していく。					